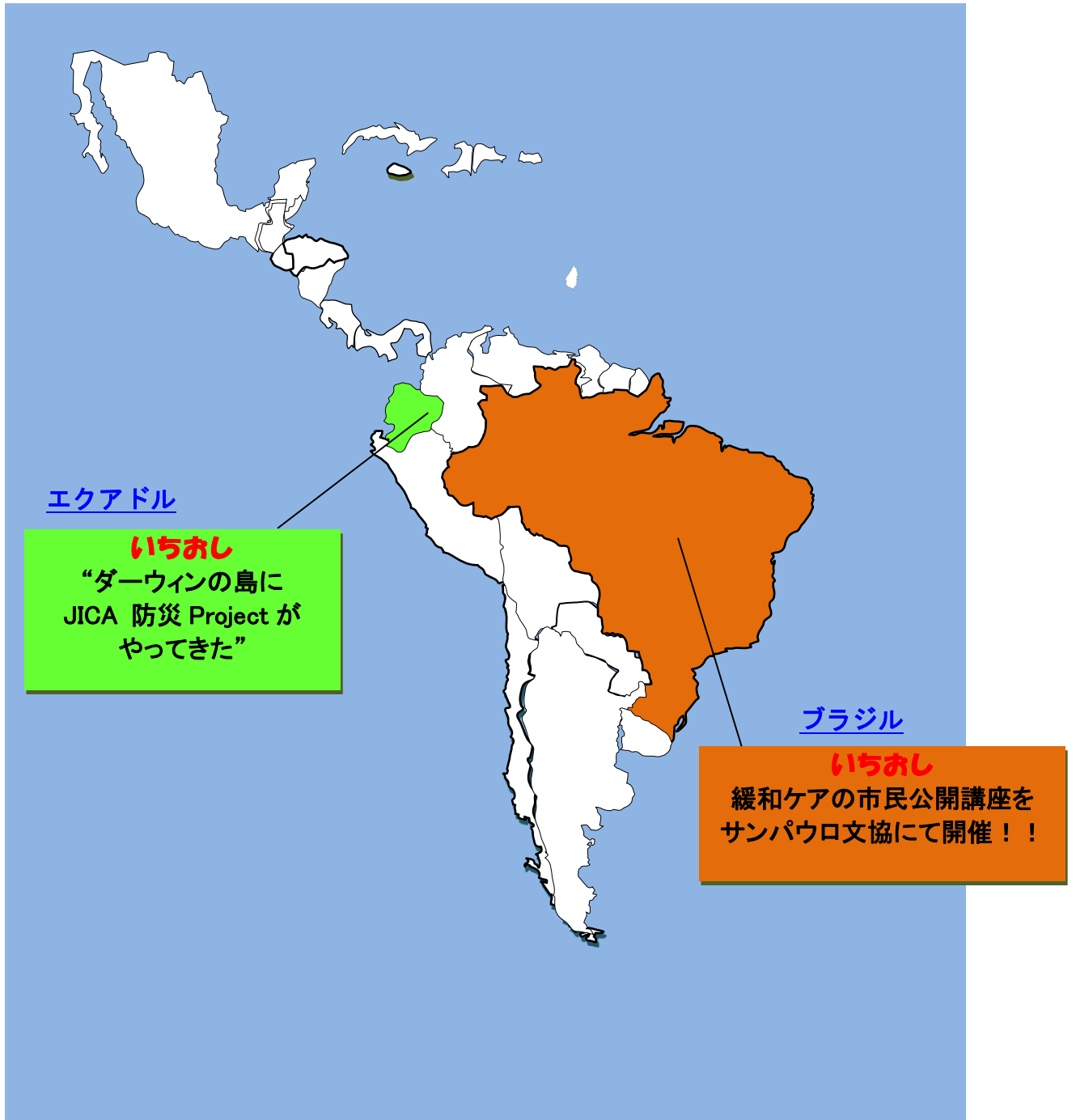




# JICA いちおし 8月号

(2019年8月2日発行)



\* 国名にはリンクを張っております。あわせてご確認ください。

### “ダーウインの島に JICA 防災 Project がやってきた”

2019 年 7 月、『地震と津波に強いまちづくりプロジェクト(PCSR)』リーダーの塚本専門家が、ダーウインの進化論で有名な、ゾウガメを名前の由来とするガラパゴス諸島を訪問しました。プロジェクト 3 年目を迎え、ガラパゴス諸島が特別枠として対象地域に加わったことから、諸島内防災関係者と初めての協議を行うための訪問です。

年間観光客数が人口の 10 倍に達する「観光立島」ガラパゴス諸島は、他方で、火山・雨季の洪水被害などの様々な防災への課題を抱えています。2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の地震は、この地にも津波被害をもたらしました。今後プロジェクトを通じて、ガラパゴス諸島の津波防災の強化に取り組みます。



フィールドワーク前、サンタクルス市防災担当による地図による解説

エクアドル事務所の情報はこちらから↓

<https://www.jica.go.jp/ecuador/>

<https://www.facebook.com/JICA-Ecuador-1449678225354548/>

次ページにつづく



防災担当者による協議

(参加者：JICA プロジェクト専門家、エクアドル国家危機管理・緊急事態対応機関、ガラパゴス諸島特別区政府機関、サンタクルス市、サンクリストバル市、イサベラ市防災担当職員)



さすがガラパゴス：ゾウガメ注意の標識

エクアドル事務所の情報はこちらから↓

<https://www.jica.go.jp/ecuador/>

<https://www.facebook.com/JICA-Ecuador-1449678225354548/>

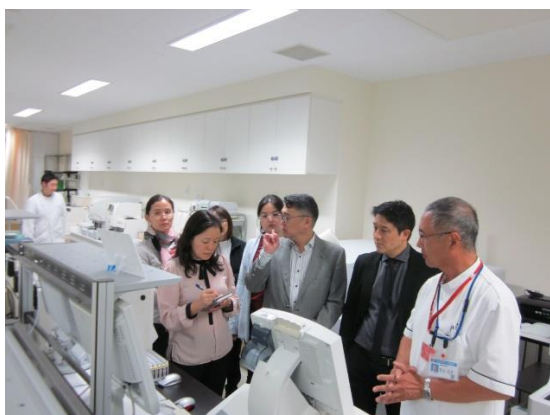
## ブラジル

### いちおし!

#### 緩和ケアの市民公開講座をサンパウロ文協にて開催！！

8月31日（土）、JICA草の根技術協力事業「SBC救済病院における緩和ケア教育事業（2018年1月～2020年1月）」の一環で、緩和ケアをテーマとした市民公開講座がブラジル日本福祉文化協会(文協)にて開催されます。緩和ケアとは、生命が脅かされている患者の生活の質の向上を目指して、医療従事者による患者及びその家族の心身的な対応を意味します。

本プロジェクトでは、北見赤十字病院（北海道）の専門家の指導によりSBC病院内に緩和ケアのサポート体制が強化されています。しかし、ブラジル国内では緩和ケアの定義が普及され始めたのはごく最近で、患者・医療従事者ともに死生観が十分に確立されていないのが現状です。そのため、一般市民を対象とする今回の市民公開講座は、緩和ケアの理解を深めるためにコーエン修道女をゲストに迎え、スピリチュアルな観点でも生命の意味について発表頂きます。また患者、その家族、医療従事者間で作りあげていく緩和ケアの取り組みを参加者が少しでも理解してもらうため、SBC病院の緩和ケアチームを構成する医師、心理学者、看護師、理学療法士も登壇します。



北見赤十字病院(北海道)で訓練を受ける  
SBC 病院の医療・看護スタッフ



北見赤十字病院の専門家が SBC 病院内で  
開いたワークショップの様子

[表紙へ](#)

以上